

ボランティア交流会新聞

★第12回ボランティア交流会を行いました★

令和2年5月号

第12回ボランティア交流会を令和2年1月21日（火）に行いました。今回は鷹栖町社会福祉協議会事務局長の梅澤氏にお越しいただき、鷹栖町でのボランティア事業の取り組みや事例をお話いただきました。そのなかで、いくつかの事業についてご紹介したいと思います。



鷹栖社協
梅澤氏

「働くきっかけ」応援プロジェクト

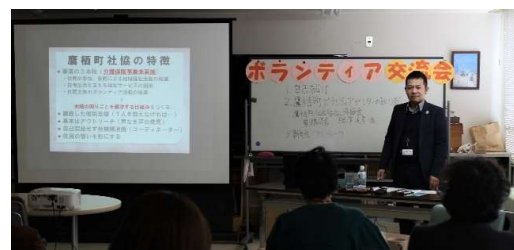
10年弱引きこもっていた方が、ボランティアをしたいと言ってくれて、地域食堂で週に1回ボランティアをすることで意欲がわき、スーパーで働き始めたという事例をお話していただきました。そこで「働くきっかけ」応援事業では、働きたいけど働くことができない困り感を抱えている方への就労支援を始めたそうです。この事業は町民ボランティアさん（サポーター）が運営し、サポーターも一緒に体験に取り組んだり、体験場までの送迎も行なっているとのこと。



買い物支援事業（御用聴きサポーター）

H25年に実施した全世帯アンケートで、寄せられた困りごとのなかに「買い物に行けない」という意見が多く寄せられました。鷹栖町は車ですぐに旭川のスーパーに行けることから、町内のスーパーが閉店に追い込まれるという事もありました。「鷹栖町に適した買い物支援」を考えた時、宅配ならすぐにできるのでは？という事で、御用聴きサポーターが買い物に困っているご自宅を訪問し、注文を聞き取り、お店の人が個々のお家まで宅配してくれるという仕組みを作りました。また、御用聴きサポーターは利用者との30分程度のおしゃべりの中で、利用者の変化に気づき、何かあったら鷹栖町社協に相談するという流れも出来ました。今では御用聴きサポーターが月に一回利用者と一緒に鷹栖町内のスーパーに行き、買い物をするという事もしているそうです。

支援の中で得た新たな気づきで、買い物支援を町民さんが我が事として捉えた結果、町内でも買い物しなくてはという意識に変わり、町内で買い物をするきっかけ（お店に足を運んでもらう）を作りたいということになったそうです。そこで、町内のスーパーの空きスペースに行政がサロンスペースを設置。すると地域住民が運営するサロンが立ち上がりました。その一つが「寺子屋」。



北野de寺子屋

町内の商業施設内のサロンスペースで実施。夏・冬・春休み開催＋定期開催（月2回）。子どもたちが寺子屋で学習支援を受けている間、子どもたちを迎えに来た親御さんが達が、ついでに買い物するという仕組みをつくりました。

鷹栖de寺子屋

鷹栖小学校や地域住民からの声もあり、高齢者施設内の地域交流スペースを活用して行なったという事例もあるそうです。



寺子屋からの発展

鷹栖中学校内に地域学習支援室の開設

☆きっかけ

不登校ぎみの生徒のための別室を用意したが先生は配置できなかったため、学びたくて来ている生徒に教えることができなかった。そのため、中学校と教育委員会から鷹栖町社協にSOSが…

☆結果として

別室の運営は鷹栖町社協で行ない、学習支援サポーターを創出し、別室登校の生徒に学習支援を行う。H31年～学習支援サポーターは地域学習支援員に移行。スクールソーシャルワーカーが配置されている。という事でした。



★その他にもこんな活動されています★

○地域・社会とのつながりを絶やさないために

頼れる他人（おせっかいさん）をつくる。

→福祉委員（49名）によるみまもり活動。

子どもも参加したいという人を募り、希望者が参加。

→老人会友愛活動員によるみまもり活動

○おうちにサンタがやってくる

サンタに仮装したボランティアスタッフが各家庭で

用意したお子さんへのプレゼントを渡す活動。一世帯500円

○冬休み・夏休みこども体験教室

ボランティア運営委員会が3ヶ月に1回集まり、考えて行っている。

子どもたちが挫折しないように、いろんな人と出会い、いろんな経験をしてほしいという思いで、5つのプログラムを作っている。会費100円（保険料として）

○福祉deはしご酒

共同募金運動と各飲食店がコラボし、期間限定で共同募金メニュー（はしご酒セット）

を用意。チケット1枚1000円で各飲食店で共同募金メニューを堪能してもらい、

なおかつ1割が赤い羽根共同募金に募金される。



講演後のフリートークでは、それぞれのグループでの話も弾み、東川町にも取り入れたい活動など大いに話し合い有意義な時間を過ごすことができました。

梅澤さん、お忙しい中、鷹栖町でのボランティア事業の取り組み等について教えていただき、ありがとうございました!!



今回初参加の方も含めて、21名の方にボランティア交流会にきていただきました。
☆ありがとうございました☆

★指のつぶやき★

先日息子のお友達からお手紙が届きました。宛名に可愛らしいひらがなで一生懸命書かれた文字が並び、封筒の中にはママ手作りの子供用マスクが入ってました。自粛生活で親子共に疲弊していたところ、心温まるプレゼントにほっこり癒されました。お手紙っていいものですね☆

コロナウイルス関連の詐欺が多発しています。警察や役場職員を名乗り、キャッシュカードを奪う詐欺、特別定額給付金実施決定を受け、一部で携帯電話事業者をかたる者が、給付金の配布を行う等の虚偽の内容を利用者に対して連絡し、こうした連絡を契機とした詐欺行為を働こうとしている例が散見されています。みなさん、お気をつけください!!

